

# FD news

〒232-0014 横浜市南区吉野町 4-19-7-701 Tel・Fax 045-261-8350  
<http://www.sepia.dti.ne.jp/folk-dance-08/yokohama/>



## 新しい年の始まりです

横浜市フォークダンス協会

会長 吉井 勤

横浜市フォークダンス協会は、昨年5月29日(日)に沢山のフォークダンス愛好者の皆さんのおかげで創立60周年の記念大会を盛大に行うことができました。あの広い横浜市文化体育館に、1,100人以上のご参加をしていただき、特別講師の鶴澤先生の講習で始まり、お昼休みには448名からなるデモと続き、午後のパーティーと入り、最後のパートまで沢山の皆さんに残っていただき、ありがとうございます。

特に448名のデモンストレーションは協会加盟サークルだけではなく、協会に加盟していない市内のサークルにもご協力を仰ぎ、沢山の御参加をしていただいたおかげで448名の大勢になりました。踊り合せの港南スポーツセンターでは、会場が狭いので2組に別れての練習でしたが、ラインが重要な踊りなのに、なかなか揃わず苦労していましたが、時間切れで終り、後は本番となりました。

さて、デモの本番ですが、なぜか会長の私は音楽係、機械の位置からはカーテンが邪魔で会場が見えず、カーテンを少し開けたら、会館の人に後の楽屋が見えてしまうのでと、又カーテンを閉められてしまい、デモは後ろの組だけしか見

れませんでした。後日見たビデオで、踊りの途中で起きた拍手に納得がいきました。デモンストレーションに参加の皆さん！素晴らしい「ウロチスティ」をありがとうございます。

横浜市フォークダンス協会も60年の還暦を迎え、これから新しい年の始まりです。還暦を越えると年々若くなると言われるから、協会も若返ったつもりでがんばりますので、これからもご支援をお願いいたします。

さて、横浜市は「健康な高齢者」といろいろと推進しています。敬老特別乗車証などがそうです。理事の方々も多数持つようになり、市民の例会、自分のサークルの行き帰りと重宝しているのではないのでしょうか。

今、健康のために筋トレ、脳トレと最近では認トレと言うのがあるそうですね。これからの人生、認知症にならずにピン、ピン、コロリと生きたいものですね。そのためにはフォークダンスが最適です。音楽を聞きながら体を動かし、難しい踊りに頭を使い、フォークダンスの仲間たちとコミュニケーションをとる、なんと素晴らしいではありませんか。ヌルプム体操より効果的だと思います。



## フォークダンスとの再会

横浜みどりフォークダンスクラブ

岩本 マリ

横浜みどりフォークダンスクラブに入会して半年が経ちました。

フォークダンスは小学生以来です。そんなフォークダンスを習い始めたのは、昨年5月に出かけた旅先での出来事がきっかけでした。そのレジャー施設では、色々なイベントが開催されていて、その中の一つに「仮面舞踏会」というものがありました。それはステージのダンサーの振りに合わせ、広場にいる観客みんなで踊るといふものです。音楽は80年代のポップスで、プロのダンサーが踊るととてもカッコいいのですが、こちらはワンテンポもツーテンポも遅れながら、踊るというより手足をばたつかせているという感じでした。初めは恥ずかしさから手も足も小さめに動かしていましたが、気が付けば夢中になっていました。周りを見ると年配の方や子供まで皆楽しそうに踊っています。そして笑顔です。体のコリだけでなく、心までほぐれたような気がしました。

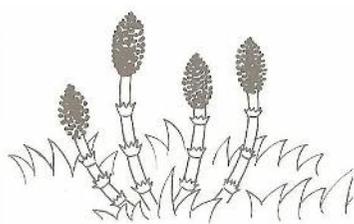
「踊るってなんて楽しいんだろう」その時、小学校時代に習ったフォークダンスの事を思い出しました。他の女の子達は男子と手をつなぐのが嫌で、踊りたくないと言っていました。私はそれよりも踊る楽しさの方が勝っていました。運動音痴の私が唯一楽しいと思えた授業でした。

「どこかでフォークダンスを習えないだろうか」

帰ってから早速、近隣のサークルを探してみました。そして色々な方との出会いのお陰で、横浜みどりフォークダンスクラブの仲間入りをすることができました。

これまでに踊った(踊れていませんが)曲は80曲以上になります。いざ始めてみると、小学生で習ったものとは全く違いました。世界各国にある多種多様な踊りの数々、独特のリズム、複雑なステップ。スコティッシュダンスのフォーメーションの難しさには、自分がこんなに方向音痴で記憶力がなかったのかと落ち込むことしきりです。それでも皆さん「三年がんばりなさい。そうすれば踊れるようになるから大丈夫よ」と励ましてくださいます。

この温かい励ましとフォークダンスと再会できた喜びを忘れず、これから一年、一年と積み重ね、皆さんのように十年、二十年と続けられるように頑張っていきたいです。





## 近 況 雑 感

瀬谷フォークダンスサークル

菊池 久子

フォークダンスの楽しみを知って 25 年になります。

その間、子供達は独立し、孫が生まれ、最愛の夫との別れ、喜びと悲しみと共にフォークダンスと歩んできたように思う。

悲しみも癒えないそんな時、今度は左の膝に激痛、検査の結果、<sup>だいたいこつかぶこつ</sup>大腿骨顆部骨<sup>えび</sup>壊<sup>えび</sup>底と診断され驚きました。難しい医学用語が並び、いったい私の膝はどうなっているのかと不安になりました。無事手術を終え待っていたのは、辛いリハビリでした。次々に起こるアクシデントにすっかり落ち込み、家に閉じこもるようになりました。時折、友人が訪ねてくれ励まし続けてくれ、有り難く感謝しています。

一年半もの長い期間、フォークダンスから離れた事がなく、もう復帰は無理と弱気になりました。

そんな時、夫の愛読書に。サムエル・ウルマンの青春という詩がある。

[年を重ねただけでは人は老えない。理想を失う時に初めて老える。]と書いている。

たった一度の人生これでいいのか・・・

自分の足で歩き、まだまだ挑戦したい事が沢山ある。

皆さんと一緒に踊りたい夢もあり。リハビリに励みました。

私は今皆さんと一緒に踊っています。この喜びを全身で受け止めています。膝はまだ、完治していません。これからは時間が解決してくれると思います。焦らず、ゆっくりとプラス思考で頑張りたいと思っています。



Wikipedia より

サミュエル・ウルマン (Samuel Ullman, 1840-1924) は、アメリカの実業家・詩人・人道主義者。彼の名は詩 "Youth" (日本では「青春」あるいは「青春の詩」と訳される) でよく知られている。

「青春の詩」"Youth" は、ウルマンが 70 代で書いた詩で、詩集 *From the Summit of Years, Four Score* に収められた作品のひとつである。"Youth is not a time of life; it is a state of mind" (青春とは人生のある期間を指すのではなく、心の持ち方を指すものである) とするこの詩は、日本では「人生の応援歌」として受容されている。

## 横浜市フォークダンス協会（県連 201）と加盟団体

市民フォーク ダンスのつどい  問い合わせ等は事務局へ ☎261-8350 青柳まで	3月	13日(月)	13:00~14:45	港南スポーツセンター
		23日(木)	13:00~14:45	神奈川スポーツセンター
		27日(月)	18:15~20:15	港南中学校
	4月	10日(月)	13:00~14:45	港南スポーツセンター
		24日(月)	18:45~20:30	港南中学校
		27日(木)	13:00~14:45	神奈川スポーツセンター

サークル名	県連	活動地	曜日	時間	会場及連絡先
FD 赤い靴	202	港南区	月	午前	J A横浜上大岡 西川 811-6991
横浜マーガレット	226	緑区	火	午前	城郷小机地区センター 中西 937-2316
保土ヶ谷 レクリエーション同好会		保土ヶ谷区	火	夜	保土ヶ谷中学校 渡辺 331-0247
横浜フォークダンス を楽しむ会	216	金沢区	火	夜	能見台地区センター 岩月 713-2611
横浜みどり フォークダンスクラブ	217	緑区	水	昼	町田市総合体育館 松澤 983-5893
ブーケ フォークダンスサークル	219	港南区	水	午後	野庭第9集会場・他 平野 841-9384
櫻桃 フォークダンスサークル	220	南区	水	午前	フォーラム南太田 岩田 772-1093
サークル クローバー	221	港南区	水	夜	港南スポーツセンター 宮田 844-0909
サークル 遊花	225	中区	木	夜	仲尾台中学コミュニティハウス 福本 892-2284
瀬谷 フォークダンスサークル	206	瀬谷区	金	昼	瀬谷踏美会 富川 301-1402
綱島 フォークダンスサークル	207	港北区	土	昼	綱島地区センター・他 阿部 561-7882

【編集後記】 春の訪れが風にのり音を立ててやってくる感じが感じられる頃となりましたね。FDニュース担当も次号(4月)からは櫻桃FDサークルに引き継がれます。

お礼 原稿依頼を受けると、時には気が重く感じることもあったかと思えます。にも拘らず、様々な原稿を頂きましたこと、大変嬉しく有難く思いました。御礼申し上げます。そして、多くのFDニュースファンが心待ちに楽しみにして読んでいらっしゃるからね！！

(サークル クローバー K.T.記)